

海外情報

米国人の68%がサプリ利用者、CRNが調査

米CRNの年次消費調査によると、米国人の3人に2人がサプリメントを利用していることと、米消費者の大半がサプリメントに対して高い信頼を寄せていることが分かった。米国サプリメント市場はここ数年、右肩上がり成長しており、2012年には300億ドルを突破すると見方もある。

米CRNが4日発表した米国人のサプリメント利用調査CRN Consumer Survey on Dietary Supplementsで明らかになったもの。調査報告によると、米国成人の68%がサプリメントを利用しており、2011年調査の69%、2010年の66%、2009年の65%と同水準の高い利用率が維持されていることが明らかになった。

サプリメント利用者のうち、76%は「毎日継続して利用する」といい、18%は「状況に応じて活用する」、6%は「季節に応じて活用する」と回答した。「毎日継続して利用する」ユーザーは、2011年調査では77%、2010年では74%、2009年では73%と、いずれも7割超で、米国におけるサプリメント摂取の常態化がうかがえる。

この結果について、CRNは「年を追うごとに、米国人口の大部分がビタミンと他のサプリメントの摂取を、健康を維持するために必要な行為の一部として評価するようになってきていることを示している」としている。

また、調査では摂取しているサプリメントの種類についても尋ねている。種類別の人気サプリメントでは、マルチビタミンが12ヵ月以上にわたって最も広く利用されており、サプリメント利用者の半数以上(52%)が摂取していた。特に、35歳以上54歳以下の世代では、マルチビタミン利用がより多く見られており、



素材	利用率 (%)
マルチビタミン	52
オメガ3系脂肪酸/魚油	21
ビタミンD	20
ビタミンC	19
カルシウム	17

2011年調査時よりも5ポイント増加して54%となっている。

マルチビタミンの後にはオメガ3系脂肪酸/魚油(21%)、ビタミンD(20%)、ビタミンC(19%)、カルシウム(17%)と続いた。「マルチビタミンは大半のアメリカ人によって使用されているが、各種ビタミンも好んで摂取されている」とCRNは述べている。そのほかにも、スポーツニュートリション分野のサプリメント利用率は18%であることもわかった。

また、米国成人の85%はサプリメントの品質や安全性、効果を信頼していることも明らかになった。2009年、2010年は84%、2011年は82%と常に8割以上をキープしており、米国人のサプリメントへの消費マインドは依然として高いことが示された。

今回の結果を踏まえて、CRNは「健康産業は米国人の3人に2人は顧客だという意識を持つべきだ」としている。

中国保健食品協会・王氏らが中国市場について講演

3日から5日まで開催された「食品開発展2012」では、中国保健食品協会の王鶴松氏が「中国市場で機能性素材、健康素材を流通させるための条件とは」、Randy Dennin氏が「米国健康食品市場で人気の商品など最新情報」と題して、それぞれ記念セミナーを行った。

王氏はまず、中国版トクホとも言われる保健食品市場について言及。昨年市場規模は2,600億元で、同氏は「2015年には市場規模は4,500億元を超える見通しとなっている」と話した。また、昨今の中国保健食品のヘルスクレームの統廃合状況についても解説した。日本では認められていない「抗酸化」「記憶力改善の補助」「ダイエット」などもある一方で、「成長・発育の改善」「血圧降下補助」などは破棄されたとした。ヘルスクレーム別の市場シェアでは「免疫力の改善(20%)」「体力疲労の緩和(15%)」「血中脂質降下の補助(12%)」「減肥(10%)」となっているという。

保健食品の原料に関しては、カルシウ

ムやビタミンのサプリメント、魚油、コラーゲン、レシチン、スピルリナなどの製品が人気だという。同氏は最後に来年3月に開催される「健康博覧会」に保健食品協会の視察団と共に再来日し、日本企業とのビジネスマッチングを模索する意向を示した。

Randy氏は近年の米国市場におけるサプリメントのマーケット規模とその伸び率などを説明。2010年の米国サプリメント市場は約281億ドルにのぼり、売上高は2000年からの10年間、毎年3~6%の伸び率を維持しているというデータがあると紹介。カテゴリー別ではビタミンが96億ドルでトップ、ハーブ類が次いで50億ドルとなっている。同氏は「サプリメントを使っている人が、継ぎ足して新しいサプリメントを取るようになってきて、マーケットが増えてきた」と説明。また、サプリメントやナチュラル・オーガニックフーズなどを合わせた「健康食品産業」の規模は、2017年には1,600億ドルを突破すると見込まれていることを紹介した。

FOOD POLIS、日本企業を韓国へ誘致

3~5日に開催された食品開発展2012において、韓国の出展社「FOOD POLIS」(国家食品クラスター)がプレゼンテーションを行い、国内企業へ韓国進出によるメリットをPRした。

「FOOD POLIS」とは、韓国の農林水産食品部などが中心となって、韓国西南部益山(イクサン)市一帯に食品産業振興の中核インフラとして形成する、R&D中心で輸出志向を目指す食品産業団地のこと。総面積は358万㎡。韓国内の食品企業が高付加価値市場を創出できるよう、世界レベルの研究開発センターを誘致・構築し、食品産業の全工程をワンストップで支援

するビジネス支援施設を備えることを目標に設定。2015年までに食品産業団地を造成し、約150社の食品企業と約10社の民間研究機関を誘致する予定という。同団地に入居する企業には「国税を3年間100%免除」、「地方税を15年間100%免除」、「投資補助金」、「雇用補助金」などの優遇を得られる。

現在、FOOD POLISは食品産業団地に入居する事業者を募集中。中国の賢花グループとMOU締結をするなど、アジア圏を中心に着実にパートナーを増やしている。FOOD POLISに関する詳細はwww.foodpolis.krまで。

~ 35th anniversary ~

高級化粧品の下請専門工場

アンチエイジング商品をお求めの方はご相談ください!

基礎化粧品

ボディケア商品

ヘアケア商品

医薬部外品

高級石けん

小ロット 低コスト 迅速性 に対応します

- 1,000本未満の小ロットからの製造にもお応えします。
- こだわりの素材を主原料に、オリジナル商品を開発します。
- パッケージまで一括、充填のみなど発注形態を問いません。

三郷工場/ライトアップ時

afaq
ISO 9001
Quality
AFNOR CERTIFICATION
Qual/2010/38143
三郷工場認証取得

株式会社 テクノビューティーサプライ
工場/〒341-0044 埼玉県三郷市戸ヶ崎2丁目220番地 ☎048-956-0865 (代表) FAX 048-956-0864
本社/〒157-0066 東京都世田谷区成城2丁目41-10
詳細はホームページをご覧ください <http://www.technobeaauty-supply.com>

ハラル認証取得は、当社にお任せください!

海外の大手法律事務所とハラル認証対応会社による特別チームが、ハラル認証取得をサポートします

その他のサービス

- 海外通販テレビショッピングマッチングサポート支援(自社サイト出店プラン、海内フルフィルメントプランなどのプランを用意)
- シンガポール在住日本人の商品サンプリングモニター調査
- 小売業進出支援(市場調査、現地視察ツアーなどに対応可能)
- 現地法人設立サポート

シンガポールをはじめ、ASEANへの進出をトータルに支援します。お気軽にお問い合わせください。

MONDO GLOBAL,PTE,LTD
東京オフィス・東京都渋谷区恵比寿西1-21-5 WEST21ビル6F
シンガポールオフィス・#07-03 KING'S CENTRE 390 Havelock Road, Singapore 169662
TEL:03-6416-9233 FAX:03-6416-9046
問合せ先:info@globalinnovagroup.com URL:http://globalinnovagroup.com/